# 30 Pro-Server EX をサービ スとして起動したい!

30.1	『Pro-Server EX』をサービスとして起動してみよう!	30-2
30.2	制限事項	30-9

## 30.1 『Pro-Server EX』をサービスとして起動してみよう!

『Pro-Server EX』は、起動方法として「通常モード」と「サービスモード」の2種類のモードが用意 されています。インストール直後は「通常モード」となっており、通常のアプリケーションと同様 に、Windows ヘログオンして起動します。(通常モードの起動方法については、「3.1 『Pro-Studio EX』 を起動しよう」をご覧ください。)

『Pro-Server EX』を「サービスモード」にすると、Windows が起動した時点で『Pro-Server EX』も起動 するように設定できるため、起動するために Windows にログオンする必要がなくなります。実際にシ ステム運用するときなどに便利な機能です。

- 重要・『Pro-Server EX』をサービスとして起動した場合、「Excel 帳票」アクションや「Excel で報告書を作成」アクションが使用できません。
  - WinGP SDK をお使いの場合は、「サービスモード」は使用できません。
    - Windows Vista で『Pro-Server EX』をサービスとして起動するには、「ユーザーアカウント制御機能」を無効にする必要があります。詳しくは「30.2 制限事項」をご覧ください。
    - 上記以外にも制限事項があります。詳しくは「30.2 制限事項」をご覧ください。

#### 30.1.1 『Pro-Server EX』をサービスモードにするための設定

『Pro-Server EX』を Windows のサービスとして起動(サービスモード)するためには、まず『Pro-Studio EX』を起動して『Pro-Server EX』の動作モードを「サービスモード」に設定する必要がありま す。

1 [設定]メニューから [Pro-Server EX の環境設定]をクリックします。

🂱 Pro-Studio EX 🛛 ?.npx	
ファイル(E) 編集(E) ツール(I) プログラ スタート ン (国) 参加局	ラミング補助(P) 設定(3) ヘルプ(1) Pro-Server EXの環境設定(P) ネットワーク設定 ✓ バルーンヘルプ(B) オプジョン設定(0)
新規にネットワークを構築します。 サンプルを選択してください。	2Wayネットワークとは

- MEMO
  Windows の[スタート]ボタンから[すべてのプログラム(P)] [Pro-face] [Pro-Server EX] [Pro-Server EX 環境設定]を選択しても、「Pro-Server EX の環境設定」画面を表示することができます。
  - 『Pro-Server EX』を Windows Vista で利用する場合、「環境設定」を実行する前に[ユー ザーアカウント制御]ダイアログが表示されます。ダイアログが表示された場合は[許 可]をクリックしてください。

2 [Pro-Server EX をサービスとして起動する]をチェックします。

Pro-Server EXの環境設定
IF Pro-Server EXをサービスとして起動する
■ Windowsアロシタンn4、Fro-perver CXO応用的なの
🦳 Pro-Server EX起動時、自動でネットワークプロジェクトをロードする
自動でロードするネットワークプロジェクト
C:¥Program Files¥Pro-face¥OPC Server for Pro-Serve 参照
✓ タスクトレイ(ZPro-Server EXアイコンを表示する
□ Pro-Server EXをターミナルサービスもしくは複数のログオンユーザーで利用する
DDEポーリング周期 1000 ms
アクションの登録 OK キャンセル



3 [Pro-Server EX をサービスとして起動する] にチェックを入れた場合、制限事項がある旨のダイアロ グが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



4[OK]ボタンをクリックします。

Pro-Server EXの環境設定
✓ Pro-Server EXをサービスとして起動する
■ Windowsへログオン時、Pro-Server EXも起動する
┌ Pro-Server EX起動時、自動でネットワークプロジェクトをロードする
自動でロードするネットワークプロジェクト
C:¥Program Files¥Pro-face¥OPC Server for Pro-Serve 参照
☑ タスクトレイ(ZPro-Server EXアイコンを表示する
□ Pro-Server EXをターミナルサービスもしくは複数のログオンユーザーで利用する
DDEポーリング周期 1000 ms
アクションの登録 OK キャンセル

『Pro-Server EX』を起動している状態で [Pro-Server EX をサービスとして起動する ] のチェックの状態を変更すると、下記のようなダイアログが表示されます。[はい] ボタンをクリックしてください。

Pro-Server EXの環境設定		
1	Pro-Server EXの起動モードが変更されました。 起動モードを変更するためには、現在起動中のPro-Server EXを終了させる必要があります。 終了してもよろしいですか?	

МЕМО	・『Pro-Server EX』を Windows Vista で利用する場合、	ダイアログが表示されますので、
	[OK]ボタンをクリックしてください。	

5[OK]ボタンをクリックします。



MEMO	・ すでに『Pro-Server EX』を起動している場合は、いったん終了し、再度起動してくださ
	l I <sub>o</sub>
	<sup>GP</sup> 通常モードの場合:「『Pro-Server EX』の起動について(通常モード)」 サービスモードの場合:「30.1.2 「サービスモード」での『Pro-Server EX』の起動と
	終了」

MEMO
 • [Pro-Server EX をサービスとして起動する]にチェックを入れた場合(サービスモード)、Windowsのサービス画面の設定で「Pro-Server EX」の「スタートアップの種類」が「自動」に設定されます。次回パソコンを起動または再起動したときに、『Pro-Server EX』が自動的に起動します。

🎭 サービス				
ファイル( <u>F</u> ) 操作( <u>A</u> )	表示(V) ヘルプ(H)			
	〕□□□			
🎭 サービス (ローカル)	🍇 サービス (ローカル)			
	Pro-Server EX	名前 🔺 🔰	説明   状態	
	<u>サービスの開始</u>	Network DDE DSDM	Dyna ネット 開始	無効 手動
	説明: Pro-Server EXのランタイムサービス	Wetwork Provisionin Wetwork Provisionin Wetwork Performance Logs a	目動 名前 あらか	于蚵 手動 手動
		Plug and Play Portable Media Seri	ユーザ… 開始 Retrie…	自動
		Print Spooler	2些处 開始 Pro-S	自動
		QoS RSVP	秘密 開始 QoS プログ	自動 手動 手動
		Remote Access Co Remote Desktop H	メット リモー	手動 手動
		Remote Procedure Remote Procedure ▲	エンド… 開始 RPC	自動 手動 ▼
	\			

[Pro-Server EX をサービスとして起動する]にチェックを外した場合(通常モード)
 Windowsのサービス画面の設定で「Pro-Server EX」の「スタートアップの種類」が「手動」に設定されます。

#### 30.1.2 「サービスモード」での『Pro-Server EX』の起動と終了

『Pro-Server EX』の起動方法を「サービスモード」にした場合、『Pro-Server EX』はパソコンを起動や 再起動をしたときに自動的に起動されますが、起動方法を変更した直後や手動で『Pro-Server EX』を 終了した場合は、下記の方法で起動してください。

• この作業は、「コンピュータの管理者」または同等の権限を持つユーザー名でログオン 重要 してください。ユーザー権限については、OS のマニュアルをご参照ください。 • 『Pro-Server EX』の起動方法が「通常モード」になっている場合は、この方法では起動 できません。「30.1 『Pro-Server EX』をサービスとして起動してみよう!」をご覧にな り、「サービスモード」に変更してください。

- MEMO・ここで説明する起動方法以外にも、「サービスモード」に設定されていれば、デスクトップの「Pro-Server EX」のアイコンをクリックしたり、Windowsの[スタート]ボタンから「Pro-Server EX」を選択しても起動することができます。
  - また、ここで説明する終了方法以外にも、Windowsの[スタート]ボタンから「Pro-Server EX の終了」を選択しても終了することができます。
- タスクバーの[スタート]ボタンをクリックしたあと、「設定」から「コントロールパネル」(OS に よっては「コントロールパネル」から「パフォーマンスとメンテナンス」)をクリックし、「管理ツー ル」から「サービス」を選択します。

物 サービス					_ 🗆 ×
ファイル( <u>F</u> ) 操作( <u>A</u> )	表示(V) ヘルプ(H)				
🎭 サービス (ローカル)	🍇 サービス (ローカル)				
	項目を選択すると説明が表示されます。	名前 △	説明	状態	
		🆏 Alerter	選択		無効
		🦓 Application Layer G	インタ	開始	手動
		🆏 Application Manage	割り		手動 🛁
		🆏 ASP.NET State Ser	ASP		手動
		🍓 Automatic Updates	Windo	開始	自動
		🖏 Background Intellig	アイド		手動
		🖏 ClipBook	クリップ		無効
		🎇 COM+ Event System	サボー	開始	手動
		Second System Appl	コンボ		手動
		Computer Browser	不ツト +日/#	8844	目朝
		We DOOM Service Deer	提供	開始	自動
		Ma DUCE Client	DOO 112 77	「第19日 日日カム	日則
		Sa Distributed Link Tra	1 / Հահ	用助な	白動
		Bistributed Transac	ギータ	1#1%0	手動
		So DNS Client	ະທາ	围始	自動 🖃
	<u> </u>	•			Þ
	∖拡張 ⟨標準 /				

**2**「Pro-Server EX」を右クリックし、メニューから[プロパティ]を選択します。



MEMO ・ メニューから [ 開始 ] を選択しても、『Pro-Server EX』を起動することができます。また、[ 停止 ] や [ 再起動 ] を選択すると、『Pro-Server EX』を終了したり再起動することができます。

3[全般]タブの[開始]ボタンをクリックします。

(ローカル コンピュー	2) Pro-Server EX のプロパティ 🛛 🤶 🗙
全般 ログオン   [	回復   依存関係
サービス名:	Pro-Server EX
表示名( <u>N</u> ):	Pro-Server EX
[ 見日月( <u>D</u> ):	Pro-Server EXのランタイムサービス
実行ファイルのパス 『F:¥Program File	.(H): ss¥Pro-face¥Pro-Server EX¥ProServr.exe″/s
スタートアップの 種類(E):	自動
サービスの状態	停止
開始(S)	停止(1) 一時停止(2) 再開(12)
ここでサービスを開	始するときに適用する開始パラメータを指定してください。
開始パラメータ(M)	
	OK      キャンセル      適用(点)

MEMO

[停止]ボタンをクリックすると、『Pro-Server EX』を終了することができます。
 「スタートアップの種類」が「自動」になっていない場合は、パソコンを起動や再起動したときに、自動的に『Pro-Server EX』が起動しません。自動で起動させたい場合は、「スタートアップの種類」を「自動」にしてください。

「サービスコントロール」画面が表示されます。



4[OK]ボタンをクリックします。

(ローカル コンピュータ)	Pro-Server EX のプロパティ ? 🗙
全般 ログオン 回	复   依存関係
サービス名:	Pro-Server EX
表示名( <u>N</u> ):	Pro-Server EX
[说明( <u>D</u> ):	Pro-Server EXのランタイムサービス
実行ファイルのパス( <u>t</u> 「F¥Program Files <sup>a</sup>	(): (Pro-face¥Pro-Server EX¥ProServr.exe″/s
スタートアップの 種類( <u>E</u> ):	自動
サービスの状態:	
開始(S)	<b>停止①</b> 一時停止② 再開④
ここでサービスを開始	するときに適用する開始パラメータを指定してください。
開始パラメータ( <u>M</u> ):	
	OK キャンセル 適用(会)

### 30.2 制限事項

『Pro-Server EX』を「サービスモード」で起動させる場合の制限事項

- 必ず「デスクトップとの対話をサービスに許可する」にチェックを入れてください。チェックを 入れない場合は、動作は保証されません。
   以下の手順で設定を確認できます。
  - タスクバーの[スタート]ボタンをクリックしたあと、「コントロールパネル」から「管理 ツール」 「サービス」を選択します。
  - 2. 「Pro-Server EX」を右クリックし、メニューから[プロパティ]を選択します。
  - [ログオン]タブをクリックし、「デスクトップとの対話をサービスに許可する」にチェックが入っていることを確認します。
    チェックが入っていない場合は、チェックを入れてください。
  - 4. [OK]ボタンをクリックします。
- 「Excel 帳票アクション」および「Excel 報告書アクション」は使用しないでください。使用した場合の動作は保証されません。
- 『Excel』の「DDE 機能」は使用しないでください。『Excel』で「DDE」機能を使用すると、Excel がフリーズします。

Windows Vista で利用する場合

『Pro-Server EX』を Windows Vista で利用する場合、「環境設定」を実行する前に[ユーザーアカウント制御]ダイアログが表示されます。

ダイアログが表示された場合は[許可]をクリックしてください。



 Windows Vista で『Pro-Server EX』をサービスとして起動するには、「ユーザーアカウント制御機 能」を無効にする必要があります。 「ユーザーアカウント制御機能」を無効にする手順は以下をご覧ください。

- タスクバーの[スタート]ボタンをクリックしたあと、「コントロールパネル」から「ユー ザーアカウント」を選択します。
- 2.「ユーザーアカウント制御の有効化または無効化」をクリックします。
- ユーザーアカウント制御(UAC)を使ってコンピュータの保護に役立たせる]のチェックを 外して、[OK]ボタンをクリックします。
- Windows Vista で『Pro-Server EX』をサービスとして起動させる場合、以下のアクションは未サポートとなります。
  - Excel のブックヘデータを書き込む
  - GP ログデータアップロード
  - GP ファイリングデータの自動アップロード
  - GP ファイリングデータの自動ダウンロード
  - Excel レシピダウンロード
  - データベースへのアップロード
  - データベースからのダウンロード

これらのアクションを実行するとエラーが発生し、処理されません。ただし、以下の設定を行う と、サービス起動による実行が可能になります。

1. [スタート]メニューのコマンド入力欄に「dcomcnfg」と入力します。



[コンポーネントサービス]が表示されます。



Γ

- 3. 右クリックメニューの[プロパティ]を選択します。
- 4. プロパティダイアログ内の [ID] タブを表示します。
- 5. [このユーザー]を選択して、[ユーザー]に管理者権限を持つユーザを入力し、[パスワード] を設定します。

Microsoft Excel アプリケーションのプロパティ					
全般 場所 セキュリティ エンドポイント ID					
このアプリケーションの実行にどの	ユーザー アカウントを使用しますか?				
◎対話ユーザー(1)					
◎ 起動したユーザー(L)					
● このユーザー(U)					
ユーザー(E):	Administrator	参照(B)			
パスワード(P):					
パスワードの確認入力(N):	••••••	]			
システム アカウント (サービス)	ብሔ)(S)				
プロパティの設定の詳細を表示します。					
	OK キャンセル	適用(A)			

6. [OK] ボタンクリックして、OS を再起動します。

以上の設定により、上記アクションは使用できますが、ログインしたユーザーは Microsoft Excel を使用できなくなります (OLE に関するエラーが発生します)。したがって、Microsoft Excelの ファイルを開くには別の PC を使用する必要があります。これは、サービスから Microsoft Excel を 使用する上での制限事項となります。あらかじめ、ご了承ください。